

**K**obe  
**U**niversity  
**E**ngineering  
**B**iology

**7.14.2026**

**13:30-14:50**

自然科学総合研究棟1号館  
204号室

どなたでも参加可

**The 11th KUEB Premier Seminar**  
**& 先端バイオ工学研究センター第20回講演会**  
**& 産業バイオ技術特論** (科学技術イノベーション研究科)

**バイオものづくり製品（バイオプロダクト）の  
社会実装における課題**

**水無 渉（ミズナシ ワタル）**

客員教授 神戸大学 先端バイオ工学研究センター  
(新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)  
イノベーション戦略センター (TSC) 上席ストラテジスト)

「バイオエコノミー」という概念が、2009年にOECDから提案されてから17年が経過し、現在、49か国を超える国が独自の“バイオエコノミー戦略”を策定して様々な取組が進められている。バイオエコノミーは、様々な産業分野での活用が期待されており、社会に貢献する成果が出てきている。一方、まだメインストリームになるには至っていないのが実情といえる。

バイオエコノミーに関する国内外の取組について概観するとともに、バイオエコノミーの中でも“バイオものづくり”について、社会実装における課題と解決に向けての方策について、安価安定な原料入手、製品設計・開発、生産技術・スケールアップ、バイオ製品の価値化などの事例を挙げて議論を進めていきたいと考えている。